



Cisco ACI と Cisco ACI vPod

- [Cisco ACI と Cisco ACI vPod \(1 ページ\)](#)

Cisco ACI と Cisco ACI vPod

Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) 仮想ポッド (vPod) は、ベアメタルクラウド環境やその他のリモートロケーションに事実上 Cisco ACI ファブリックを拡張できるようにする、ソフトウェアのみのソリューションです。これは、Cisco APIC リリース 4.0(2) 以降で一般に利用可能です。

Cisco ACI vPod は、ESXi ハイパーバイザを実行できるサーバーが少なくとも 2 台存在する任意の場所に展開できます。これにより、物理リーフがない場所で Cisco ACI Virtual Edge を使用できるようになります。

Cisco ACI vPod とそのコンポーネントである仮想スパイン (vSpine) のペアと仮想リーフ (vLeaf) のペア、および Cisco ACI Virtual Edge は、ESXi で実行されます。vSpine と vLeaf はコントロールプレーンの管理を処理し、Cisco ACI Virtual Edge はパケットの転送、ポリシーの適用、およびすべてのデータプレーンの管理を処理します。

Cisco ACI vPod は、VMware vCenter Server により定義されるデータセンターを管理します。リモートロケーションの Cisco ACI vPod ごとに Cisco ACI Virtual Edge のインスタンスを最大 8 個使用できます。Cisco APIC を使用して、仮想データセンターで Cisco ACI vPod のノードを管理し、Cisco ACI ポリシーを適用できます。

Cisco ACI vPod は、物理ポッド、オンプレミスポッド、またはマルチポッドとポッド間ネットワーク経由で通信します。物理ポッドまたはマルチポッド、ポッド間ネットワーク (IPN) 接続、および Cisco ACI vPod の設定は、Cisco APIC で行うことができます。Cisco ACI vPod コンポーネント仮想マシン (VM) の展開には、Cisco ACI vCenter プラグイン、Python スクリプト、または PowerCLI を使用できます。

Cisco ACI vPod は、『*VMware Hardware Compatibility Guide*』に記載されているすべてのサーバーハードウェアと互換性があります。

Cisco ACI vPod に関する情報は、[Cisco.com](#) から入手できる次のドキュメントで確認できます。

- [Cisco ACI Virtual Pod リリース ノート](#)

- [Cisco ACI Virtual Pod インストールガイド](#)
- [Cisco ACI vPod クイック スタートガイド](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。